

わたしたちが地球探検隊です！



古琵琶湖に眠る化石をさがそう！

『地球探検隊』が服部川で化石採取をしました！

27年度から活動開始した『地球探検隊』は、三重県総合博物館ミュージアム・パートナーに登録した人の中から集まってできたグループです。博物館と一緒に化石を採取して研究することを目的に、月に一度活動しています。

これが化石採取の基本スタイルだ！



岩石を砕いて化石をさがす

まずはハンマーやタガネを使って岩石を砕き、化石を見つけたら化石が割れないように岩石を大きめに採り出しましょう。



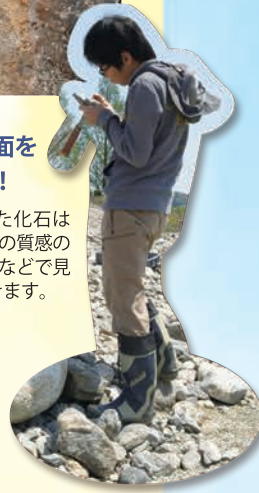
砂と泥が交じった堆積物

タニシの仲間をはじめとする貝類の化石がたくさん見つかります。



割れた岩石の断面をよく観察しよう！

岩石に埋まった化石は小さくても、表面の質感のツヤや、色の違いなどで見分けることができます。



伊賀市平田 服部川ってどんなところ？

服部川の河原には古琵琶湖層群という約350万年前の地層が露出しています。三重県の上野盆地から滋賀県の近江盆地にかけて広がる地層で、この時代の伊賀地方には湖(古琵琶湖)が存在していました。その湖に積もった堆積物の中から化石が見つかります。



台風で増水して河原の地層がけずられ、ゾウやワニの足跡化石があらわれた！



足跡化石群。生物の足跡などの痕跡が残されたものも化石になり、生痕化石といえます。

長さ60センチの巨大なミエゾウの足跡化石！MieMuの全身骨格の大きさは、この足跡をもとに作られました。



レプリカ制作。型の取り外し作業。

過去に伊賀市服部川で採取した化石

初めての人は、他の人が採取した化石をよく観察して特徴を覚えておこう！



ギギ(魚類)の胸ビレにはトゲがあります。



この産地を代表する化石。淡水の泥の中で生活する巻貝で、現在は絶滅しています。



コイの仲間は口に歯がなく、喉に咽頭歯とよばれる歯があり、飲みこんだエサをすりつぶします。

